

【高校英文法】 不定詞（１）

● 不定詞のポイント

- ▼ 1 不定詞 3 つの働き
- ▼ 2 不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法

▼ 1 不定詞 3 つの働き

不定詞って・・・「**to + 動詞の原形**」で名詞、形容詞、副詞の働きをする。

to 不定詞のイメージは前置詞 to と同じ！

〈イメージ〉

「～へ」という到達点を表す。



だから、「指し示す」感覚で to 不定詞は使われている。そして向かっていくというニュアンスからこれから起こる可能性のあることを表す「未来志向」にもつながってくるんやで。

▼ 2 不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法

- 1 名詞的用法・・・文の _____ or _____ or _____ になる。

【文の S になる】

To make good friends is important in school life. 「良い友達を作ることは学校生活において大事だ。」

It's necessary **to** learn from mistakes. 「失敗から学ぶことが必要やで。」

【文の O になる】

I need **to** write in this diary for my English homework. 「僕は英語の宿題でこの日記を書く必要がある。」

【文の C になる】

My wish is **to** travel around the world. 「私の願い（したいこと）は世界中を旅することです。」

☆形容詞的用法、副詞的用法をマスターするためのカギ！☆

形容詞的用法、副詞的用法には色々な意味があるけど、大切なのは**足りない情報を補う感覚**。文脈によって何を補うかは変わっても、この「**足りないー補う**」のリズムは同じ！音読でリズムを体得してみよう。

■ 2 形容詞的用法・・・「_____の関係」or「_____の関係」or「_____の関係」になる。

【S V の関係】

I need a good friend **to** give me advice. 「私にはアドバイスをくれる、良い友達が必要です。」

Who was the first person **to** walk on the moon? 「月面を歩いた最初の人是谁でしたか？」

【V O の関係】

I have a lot of work **to** do today. 「今日はしないといけない仕事がたくさんあります。」

Do you have something **to** write with ? 「何か書くものある？」 → _____

Do you have something **to** write on ? 「何か書くものある？」 → _____

【同格・説明の関係】

His speech had the power **to** move people. 「彼には人を感動させる力があつた。」

Takumi has a strong desire **to** study abroad. 「たくみには留学したいという強い願望がある。」

He has the ability **to** do the job. 「彼にはその仕事をする能力がある。」

Question! 次の英文の違いは？

I have no one to trust. _____

I have no one to trust me. _____

■ 3 副詞的用法

目的・結果系

- ①目的「～するために」 ←自分の意図・意志が表される動詞がきやすい (work / study / use など)
- ②結果「その結果～だ」 ←無意志動詞がきやすい (grow up / live など)

原因・根拠系

- ①(感情の)原因「～が原因で」 ←「感情表現 + to～」の形
- ②(判断の)根拠「～するなんて」 ←「人の性質・性格」を表す表現とセット

形容詞修飾系

- ①程度「～する点において」 ←「too … to～」や「… enough to～」の形
- ②難易形容詞を修飾「～する点において」

【目的・結果系】

①目的

I'll go to the bookstore **to** buy a math English book. 「数学の問題集を買いに本屋さんに行くわ。」

He started studying hard **in order to** attract girls. 「彼は女の子にモテるために懸命に勉強し始めた。」

②結果

I came home **to** find my bike had been stolen. 「家に帰ると、自転車が盗まれていることに気づいた。」

I ran to the shop, **only to** find it was closed. 「店まで走ったが、閉まっているとわかっただけだった。」

【原因・根拠系】

①原因

I'm very happy **to** see you here. 「私はここであなたに会えてとても嬉しいです。」

I'm sorry **to** hear about your accident. 「あなたの事故を聞いて気の毒に思います。」

②根拠

He must be genius **to** solve the math problem. 「その数学の問題を解くなんて彼は天才に違いない。」

It was brave of you **to** tell the truth. 「ホンマのことを話すなんてあんた勇敢やな。」

【形容詞修飾系】

①程度

The coffee is **too** bitter **to** drink. 「そのコーヒーは飲むには苦すぎた。」

My English is not good **enough to** study abroad. 「僕の英語は留学するのに十分なほどうまくない。」

②難易形容詞を修飾 ←漠然とした形容詞の意味範囲を to 不定詞で限定する！

(1) It is 難易 to ~

大事なものは(1)と(2)の形！

主語に人がくるときは to の後が

不完全になることがポイントやで！！

(2) S is 難易 to ~

It is difficult to answer your question. 「君の質問は答えるのが難しいね。」

⇨ Your question is difficult to answer .

It is very hard to get along with her. 「彼女と付き合うのがとても難しい。」

⇨ She is very hard to get along with .

難易形容詞の種類

easy (やさしい) / **pleasant** (楽しい) / **safe** (安全な) / **good** (適している) / **comfortable** (快適な)
difficult / **hard** / **tough** (難しい) / **dangerous** (危険な) / **impossible** (不可能な) など。

【高校英文法】 不定詞（2）

- ▼1 「SVO to ~」型
- ▼2 「SVO + 原形」型 使役動詞、知覚動詞
- ▼3 不定詞の1 + 5つのバリエーション

▼1 「SVO to ~」型

My mother **asked** me **to** clean the window.

「母は私に窓をキレイにしてほしいと頼んだ。」

The internet **enables** us **to** communicate with people all over the world.

「インターネットによって世界中の人々と会話できるようになった。」

◆ 「SVO to ~」型の動詞一覧

【①伝達系動詞】

tell「話す」	teach「教える」	advise「助言する」
remind「思い出させる」	persuade「説得する」	warn「警告する」

【②依頼・要求・許可系動詞】

ask / beg「頼む」	request「依頼する」	recommend「勧める」
require「要求する」	order / command「命令する」	
demand「要求する」	expect「期待する」	allow / permit「許可する」

【③強要・推進・援助・好嫌系動詞】

drive「無理に～させる」	force / compel / oblige「～するように強いる」	
invite「勧める」	enable「可能にする」	encourage「励ます」
cause「～させる」	lead「導く」	
like / prefer「好む」	hate「嫌う」	want「欲する」

【④考慮系動詞】

believe / consider / suppose「思う」

☆ポイント

「SVO to ~型」はOとto ~の間にS' V'の関係がある。

My mother **asked** me **to** clean the window.

▼ 2 「SVO + 原形」型 (使役動詞・知覚動詞)

◆使役動詞・・・だれかに何かをさせることを表す動詞。以下の3つは全く別の意味を持つので注意！

①S **make** O 原形不定詞 : 「SはOに(強制的に)～させる」

I **made** my younger brother **help** me. 「僕は弟に(有無を言わず)手伝わせた。」

☆make は**ゼロから作り上げるイメージ**。そのため無理やり、強制的にさせてニュアンスになる。

②S **let** O 原形不定詞 : 「SはOに(望み通りに許して / ゆずって)～させる」

He **let** me **see** his English diary. 「彼は私に英語の日記を見せてくれた。」

☆let は**Oがしたいことを譲ったり、許して～させる**、という柔らかいニュアンスになる。

③S **have** O 原形不定詞 : 「SはOに～させる(してもらう)」

I'll **have** someone **carry** your suitcase. 「だれかにあなたのスーツケースを運ばせますよ。」

☆have はSとOの間に「**上下関係**」「**やってもらって当然のような関係**」がある。そのため、部下が上司に使うことはなく、相手がしてくれるのが当然だという前提のもとにいう表現。

◆知覚動詞

I **saw** a man **throw** something into the river. 「私は男が川に何か投げ入れるのを見た。」

I **heard** someone **shout** in the distance. 「オレ、遠くで誰かが叫んでるのを聞いたんだよね。」

知覚動詞の種類

see (見る) / watch (じっと見る、見守る) / look at (見る)

hear (聞こえる) / feel (感じる) / notice (気づく) / observe (気づく) など。

◆使役、知覚動詞の受動態

make / see / hear の使役、知覚動詞を受動態にするときには動詞の原形ではなく、**to 不定詞**で表す。

My mother **made** me wait outside the store.

→ I was **made to wait** outside the store by my mother.

☆ふつう1つの文に動詞は1つしか置けない。そのため to 不定詞を使って準動詞に格下げになるんやで！

▼ 3 不定詞の1+5つのバリエーション

◆ seem to ~ / appear to ~

seem to ~ 「(見る人の主観的な判断で) ~のようだ / ~のように思われる[見える]」
appear to ~ 「(外見などから客観的に判断して) ~のようだ / ~のように思われる[見える]」
☆seem to のあとには状態動詞がくる。動作動詞は進行形か完了形で使われる。

He **seems to** be reliable. 「彼は信頼できそうだ。」

She doesn't **appear to** have much experience. 「彼女はたくさんの経験を積んでいるようには思えない。」

◆ 不定詞の5つのバリエーションまとめ

意味上の主語	for <input type="text"/> 人 to ~
否定形とセット	not to ~
進行形とセット	to be -ing
受動態とセット	to be p.p.
完了形とセット	to have p.p.

① 意味上の主語 : 「it is ... for[of] 人 to ~」

It was a mistake **for you to** accept that job. 「君がその仕事を引き受けたのは間違いだったね。」

It was brave **of you to** tell the truth. 「本当のことを話すなんてあなたは勇敢だったね。」

☆ポイント

「for to ~」の「 人」と「to ~」の関係は **S' V'の関係**

形容詞が**人の性質・性格を表す**ときは for ではなくて **of になる**

② 否定形とセット : not / never などの否定語は to の直前!

It is important **not to** worry about mistakes. 「間違いを心配しないことが大切だ。」

You have to try **not to** talk in a loud voice in the library. 「図書館では大きな声で話さないようにしなきゃね。」

③ 進行形とセット : 「to be -ing」

He seems **to be getting** over it now. 「彼はそのことを乗り越えつつあるように思えます。」

Seisuke seems **to be sleeping**. 「せいすけは眠っているようだ。」

④ 受動態とセット : 「to be p.p.」

I want **to be left** alone. 「オレをひとりにしておいてほしいんだ！」

Most people don't like **to be laughed at**. 「たいていの人は笑われるのは好きじゃないよ。」

⑤ 完了形 : 述語動詞と不定詞の「時」のズレがあるとき → 「to have p.p.」

She seems to be sleepy. 「彼女は眠そうだ。」 ← 「今」 sleepy だと 「今」 予想



She seems to have been sleepy. 「彼女は眠そうだったようだ。」 ← 「過去に」 sleepy だと 「今」 予想



She seemed to have been sleepy. 「彼女は眠そうだったようだった。」 ← 「過去に」 sleepy だと 「過去に」 予想



「S seem[appear] to ~」 → 「it seems[appear] that S V」 の書き換え

She seems to be sleepy → **It seems that she *is* sleepy.**

She seems to have been sleepy → **It seems that she *was* sleepy.**

She seemed to have been sleepy. → **It seemed that she *had been* sleepy.**

現代英語では「it seems[appear] that S V」の表現はあまり使われず、硬く客観的なニュアンスになる。